

支援者様との交流 ～歯磨きの大切さと将来への希望～



一本一本きれいに磨くことを意識しての歯磨き



きれいにクリーニングしてもらいました



歯科医の先生からマイ(右)に直接指導

皆さん、こんにちは。日本では寒さが和らぎだんだんと春の訪れを感じる頃でしょうか。こちらカンボジアでは、朝晩の冷えは和らぎ、日中は座っているだけでも汗をかく陽気になってきました。

今回のDream通信では、1年ぶりに来園された、虫歯予防活動を行うNPO団体、カムカムメール様による子どもたちへの歯磨き指導と、ワタミグループ社員ツアーの皆様が来園された際の様子についてお伝えします。

歯磨き指導

2月6日、カンボジアで虫歯予防活動を行うNPO団体、カムカムメール様から、歯科医や歯科助手、通訳、お手伝いのカンボジア人スタッフの方々が来園されました。

今回は1年ぶりに子どもたちの歯を診て、前回からの評価をしていただきました。

まずは一人ひとり問診を行い、歯磨きの頻度や歯の衛生状況を確認します。そして、赤い染料を使い歯を染め、磨けていない歯をチェックします。子どもたちは染まった歯を自分で鏡でチェックしながら、歯磨きの仕方について指導を受けました。歯の側面にしっかりと歯ブラシをあて、一本一本優しい力で磨き、毎回自分で歯がつるつるするかチェックすることなどを教わりました。また、歯垢や歯石が溜まっているなどの問題のあった子どもは個別にクリーニングをしてもらい、きれいな歯にすることができました。

園の生徒会で衛生委員会の委員長を務めるブーン・マイは、歯科医の先生からさらに細かいアドバイスをいただき、毎日の歯磨きの際に子どもたち全員が正しく歯磨きができるように指導をしていくことを約束しました。

今回、診ていただいた結果、子どもたちの歯は1年前と比べてとてもきれいになったと褒めていただきました。また1年後にはもっときれいになったと言っていただけの歯を目指し、これからも歯磨きの大切さを子どもたちに伝えていきます。

ワタミグループ社員ツアー

2月20日、ワタミグループから29名の社員の方々が来園されました。年2回行われるこのツアーには、毎回30名前後のワタミグループの社員様が参加してくださり、子どもたちもとても楽しみにしています。

今回も、毎回恒例となったしっぽ取りゲーム、夕食会、日本語授業、踊りの披露と盛りだくさんの内容で交流を行ないました。また、お客様からは、日本の歴史や文化を紹介したいと、ソーラン節、クラリネットの演奏、空手の形の披露をしていただき、子どもたちは普段触れることのない文化に間近で触れ、目を輝かせて見ていました。また、日本には子どもたちのことを応援してくださっている方々がたくさんいるというメッセージとともに、あるワタミの介護ホームのご入居者様から手作りのノートやしおりなど、その他にもたくさんのご寄附をいただきました。

日本語授業では、現在日本語を習っている20名の子どもたちがお客様との日本語での会話にチャレンジしました。まだ習い始めて半年という子もいるため、皆とても緊張してこの時を迎えましたが、実際にお客様と向かい合って座り、会話を始めると、すぐに笑顔で会話を楽しむことができました。事前に準備していた質問を忘れてしまい、力を発揮しきれなかった子もいましたが、もっと上手に話せるようになりたいと、日本語学習のモチベーションに繋げることができました。

また、今回は一人のお客様が先生となり、日本史の授業をしてくださるということで、中学生、高校生の子どもたち全員で参加しました。第二次世界大戦の後、被害が大きかった日本がどのようにして経済成長を遂げ、現在の日本ようになったのか、という戦後史についての授業をしてくださいました。先生から、日本はなぜ発展できたか、という問いを投げかけられると、子どもたちは次々と手を挙げ、『真面目に仕事に励んだから』『お互いに助け合うことができたから』と答えました。この日本の歴史をこれからのカンボジアになぞらえ、内戦が終わって間もないカンボジアの発展は、今の子どもたちの世代が支えていくのだというお話をいただきました。子どもたちは授業を受けた後で、当時の日本人のように一所懸命に働き、お互いに助け合い、この国を良くしていきたいという思いを強く感じたようでした。

今回もたくさんの方との交流で、支援者様の存在を身近で感じ、また日本についての知識が少し増えたようです。そして、自分たちがカンボジアを発展させる力になるのだというメッセージは、子どもたちに大きく響きました。この熱意を胸に、これからも日々の勉強に励んでいって欲しいと思います。



白熱のしっぽ取りゲーム



身振り手振りで会話を楽しみました



緊張しつつも楽しんで会話できました



日本の戦後史について学びました